

会議録

全部記録 要点記録

1 会議名	平成 24 年度第 2 回姫路市環境審議会環境基本計画委員会
2 開催日時	平成 24 年 8 月 1 日 (水) 14 時 00 分～15 時 20 分
3 開催場所	姫路市役所 10 階 第 5 会議室
4 出席者又は欠席者名 (敬称略) (出席者) 山村充、足立昌子、糸川恵司、福永明 (欠席者) 有馬妙子、石井修、小河晶子、川崎志保、杉江他曾宏、中瀬勲 (事務局) 環境局長 中澤賢悟 環境政策室 寺西一、池田康政、小村博史、三浦弥生	
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴不可
6 議題又は案件及び結論等 議題 新姫路市環境基本計画について その他	
7 会議の全部内容又は進行記録 詳細については別紙参照	

平成 24 年度第 2 回姫路市環境審議会環境基本計画委員会 会議録（内容）

1 議題

（1）新姫路市環境基本計画について

ア 新姫路市環境基本計画 骨子（案）

（ア）計画策定の趣旨について、「姫路の環境をみんなで守り育てる条例」に定める 3 つの基本理念の実現に向けて、条例第 9 条に基づき、環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定し、持続可能な社会を目指すとする。

（イ）計画の位置づけと役割について、

・環境の保全と創造に関する施策を、中長期的な観点から総合的かつ計画的に推進するもの

・他の計画の策定及び施策の実施に際し、環境面において整合が図られるべきもの

・市民、事業者の環境面に関する指針となるもの

と設定する。

（ウ）計画の対象範囲・事項について、「生活環境」「自然環境」「快適環境」「地球環境」、そして対象範囲に横断的に係る事項として、「環境教育・環境学習」を掲げる。

（エ）計画の対象地域について、姫路市全域とする。

（オ）計画の期間について、平成 25 年度から平成 32 年度までの 8 年間を計画期間とし、社会情勢の変化に対応するため、必要に応じて見直しを行う。

（カ）計画を取り巻く背景として、「環境をめぐる社会情勢」「市民の意識」「姫路市の環境の現状と課題」等についてポイントになると思われるものを現段階では箇条書きにしている。なお、市民意識調査の結果については、資料 2 にまとめている。

（キ）環境像の案について、「自然と人が調和し、未来につなぐ環境城下町・姫路～持続可能な環境共生社会の形成を目指して～」を考えている。この環境像は、「播磨の風土、恵まれた多様な自然環境」「次世代、子ども」「持続可能、環境・経済・社会の統合的向上」等の視点に立って設定している。「環境像実現のための基本目標」については、第 3 章第 1 節の表の区分で施策や事業を一旦整理した後、基本目標を示したいと考えている。

（ク）第 3 章の「目標を達成するために取り組むこと」について、「市民環境力の向上」「低炭素・循環型社会の構築」「生活環境の保全」「自然環境との共生」「快適環境の創出」とその中に設けた 19 の推進目標において具体的な施策や事業を整理する。

（ケ）第 4 章のリーディングプランについて、計画全体を牽引するものとして、特に重点的に取り組んでいくテーマを掲げたいと考えている。

（コ）第 5 章の「目標の達成に向けみんなで取り組むために」について、第 1 節の「各主体の役割」では、市民、N P O 等の民間団体、事業者、市（行政）の役割を示し、第 2 節では、主体間の様々な協力・連携を図ることが環境づくりでは重要であることから、「主体間の協力・連携の仕組みづくり」を示す。

（サ）「計画推進の仕組み」について、府内体制や環境審議会、環境情報の共有などの環境施策や事業を進めていく上で不可欠な仕組みを記載する。

（シ）「計画の進行管理」について、P D C A サイクルにより進行管理を行うとともに、「指標の再整理」「総合計画の進捗管理」との連動等を図ることにより、目標達成に向けた継続的改善を図っていきたいと考えている。

2 意見・質疑応答

委 員：P D C A サイクルによる進行管理を行うとしているが、2012 年までの評価を 2013 年以降に反映させないのか。

事務局：経年的に組み込んでいく。

委員長：「美化」が「快適環境」に含まれているが、「生活環境」ではないのか。

事務局：「生活環境」の方には「廃棄物」を入れており、「快適環境」における「美化」は景観美化等の意味合いである。

委 員：事務作業の効率化が必要とあるが、コンピューターや組織替えなど具体的に考えているのか。

事務局：実績の確認をする際に、総合計画の確認と一体で行うなど、事務作業の簡素化に努める。

委 員：生活環境の保全にあるヒートアイランド対策とはどのようなことをするのか。

事務局：緑化対策。

委 員：事業所も対象か。

事務局：市民による緑のカーテンや屋上緑化、壁面緑化を考えている。

委員長：環境像にコンパクトシティとあるが、具体的なプランはあるのか。

事務局：総合計画にある。姫路版の場合は、いくつかの核となる地域を整備し、それを繋いでいくというもの。

委員長：生涯現役社会とは、どのようなものか。

事務局：高齢者が日々元気に過ごせる社会で、余暇の充実だけでなく、社会貢献の機会を得られるもの。

委員長：生物多様性をぜひ取り入れてほしい。

事務局：この計画の中では方向性を示すにとどめ、詳細な内容については2、3年のうちに決めていきたい。

事務局：この計画は、共存共栄で将来にわたりバランスのとれたものにしたい。特に次世代が小さい頃から考える環境教育を示したい。

委員長：環境と経済の調和が重要と思う。

委 員：地球温暖化対策は大切。正しい認識がどこまで市民に伝わっているのか。環境と経済の整合性がとれている計画を作ってほしい。

事務局：社会情勢に合わせて変えていく。

委 員：姫路市として目標数値を示さないといけない決まりはあるのか。

事務局：決まりはない。

事務局：前計画の検証を章か節に書いたほうがいいのか。

委員長：書いたほうがいい。

事務局：第1章第3節に盛り込んでいく。

委 員：一般廃棄物処理基本計画があるが、夢前町の産業廃棄物処分場の問題は関係するのか。

事務局：対象外。

委員長：他市で産業廃棄物について記載している計画はあるのか調べてください。

委員長：リーディングプランの農林漁業とは具体的にどのようなものか。

事務局：地産地消やバイオマスなどを検討していきたい。

委員長：地球温暖化対策については、産業界が独自で掲げている目標値に配慮するよう。

3 事務連絡

次回の本委員会は、9月下旬頃に開催予定